

平成20年度 海外派遣教員を励ます集い

平成20年3月8日（土）に上記の会が、岡山アークホテル1Fレストランで開かれました。岡山駅の近くで、便利が良く、貸し切りでも良心的な料金のため、本会の行事として最近おなじみの会場でした。

参加者は45人で、今回派遣される7人の内6人が参加されました。それでは、以下に会の様子をお知らせいたします。



中原寛之先生は、倉敷市立船穂小学校からコロンバス補習授業校に教頭として派遣されます。先生は奥様とお子様を同伴されました。3度のチャレンジで今回海外派遣の夢が叶ったそうです。今は、不安よりも期待の方がどんどんふくらんでいるとお話しされました。お子様は現地校へ通うので、英語のシャワーを浴びることになります。奥様からは、日本でよりも、家族の絆を深めるようにがんばることや、手料理のレパトリーを広げるようにしたいと抱負を述べられました。



で、英語のシャワーを浴びることになります。奥様からは、日本でよりも、家族の絆を深めるようにがんばることや、手料理のレパトリーを広げるようにしたいと抱負を述べられました。



浅野智宏先生は、岡山市立芳泉小学校からデトロイト補習授業校に教頭として派遣されます。先生は、以前に本会の池田先生からシンガポール日本人学校の話をも熱く聞かせられ、また派遣が決まってからは、前任の中川先生から電話やメールで励まされているそうです。まだ若いのに、教頭という肩書きなので、職場で冷やかされるそうです。帰国後は、岡山県や本会に恩返しができるようにがんばってきますと、抱負を述べられました。



帰国後は、岡山県や本会に恩返しができるようにがんばってきますと、抱負を述べられました。



坂本竜也先生は、倉敷市立中庄小学校から上海日本人学校に派遣されます。派遣教員の採用試験に何回も挑戦してきて、今回がもう最後かなあと考えていたそうです。今、中国は殺虫剤混入のぎょうぞ問題や、軍事費の大幅増など不安なことが多いのですが、この集いで前任の延岡先生から、中国っていいよというお話を上手に聞かされ、その不安も解消して

きたそうです。帰国報告会では、中国語で、中国のよさをアピールできるようにしたいそうです。奥様からは、小1と3と6年生の3人の男の子に、全国から集まってくる子ども達といっしょに勉強するため、「岡山弁ばあじゃあいけんでえ」と標準語のレッスンをしている様子を、楽しくお話しされました。



林伸明先生は、倉敷市立倉敷第一中学校からペナン日本人学校に派遣されます。奥様は、フラメンコを習っておられて、この度、同年次として派遣される志水先生のバルセロナが良かったとすれ違いをしているそうです。しかし、住めば都と同席の先輩先生方からペナンの素晴らしさをたくさん聞いておられました。現地では、体育祭や文化祭などの行事を心に残る物にしたいことや、卒業生が感動を持って卒業できる学校生活を送らせるようにがんばりたいと抱負を述べられました。また、剣道を現地でも伝えていきたいそうです。



藤原孝裕先生は、津山市立鶴山小学校からニュージャージー日本人学校に派遣されます。神田会長の秘蔵っ子という感じですが、アメリカも世界のニューヨークということで、張り切っておられます。飛行機が苦手な心配をしていたそうですが、東京まで飛行機で出張して、岡山からこんなに近いんだと、その便利さを実感し

たそうです。現在は英語がほとんどできないので、帰ってくる時には、英語が話せるようにがんばりたいとのことでした。また、奥様からは、子どもたちに色々な経験をさせてあげたいとのお話がありました。





志水賢治先生は、岡山市立清輝小学校からバルセロナ日本人学校に派遣されます。現在の人権担当を3年間しているのです、すでに2年生担任と言われていて、不安と期待が交錯している様子でした。バルセロナの地で、子どもたちに何を伝えるか、帰ってきて岡山の子どもたちに何を伝えるか、

しっかり足を地につけた教育を行っていききたいそうです。奥様からは、お子様がまだ1才で夜泣きがなので、赴任時の長時間飛行機に乗っておられるかが、まず心配ですとお話がありました。



神田進会長

今回の派遣教員は、東京出張で欠席の松尾真治先生（倉敷市立玉島北中学校からバンコク日本人学校に派遣される）をふくめ7人全員最優秀で大変うれしいです。自分を失わず、周りに引っ張られず、自分の力を発揮してください。そして、休みの日には、家族の絆を深めるように努めてください。



生野康一全海研会長

この壮行会の意義は、みなさんの先輩が、少しでも安心して赴任ができるように支えている会です。みなさんは、全国の会とこの岡山県の会のネットワークの中で、飛び立っていくということを忘れないでください。また、この会のみなさんは、鹿児島での全国大会にぜひ参加してください。



藤井昭平顧問

昭和47年に、初めて岡山県から2人の派遣が決まり、それから数年間は予算の関係で2人わくが続きました。その後、わくはなくなって、今度は派遣教員のフォローのため帰国教師の会を作っていただいた。それが本会の始まりです。今は、全国にこの組織があり、情報もある。ぜひ岡山の代表として活躍してください。

赤松康弘参与

乾杯の音頭をとって
くださいました。



ビュッフェスタイルの食事



山本正副会長

オーストラリアの楽器ディデュリドゥー
の演奏（お祝いの音楽）

